

ふじみ野市 GIGA スクール推進通信 No.11

ふじみ野市の教育
魅力発見！

令和7年12月15日発行
ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市
GIGA スクール構想

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする児童生徒を含め、
多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する
- これまで積み上げてきた教育実践と最先端の ICT 環境との融合を図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

2025 年 すらドリ・アンバサダー紹介！

本市の児童生徒は「eライブラリ」と「すららドリル」というAI ドリルソフトを使って学習に取り組んでいます。すららドリルについては、小4から中3までが活用し成果を上げています。



先生方も児童生徒に目標設定をさせるなど工夫して取り組んでいますが、総合的に利用頻度等が高い教員が「すらドリ・アンバサダー」に認定されました。

今年は本市で7名の教員が認定を受けましたので、その方々を紹介します。

質問内容

- 1 いつ、どれくらい活用していますか
- 2 主に活用している教科と活用法は
- 3 児童・生徒のやる気を起こす工夫は
- 4 家庭学習で取り組ませる工夫は
- 5 校内で活用促進するための工夫は
- 6 その他

- 1 算数で習熟度別授業を行っている。**教科書問題が終わったらすららに取り組む。**コースのレベルに合った問題を出している。
- 2 算数が多いが理科でも活用。教科書から選ぶが便利。
- 3 卵を育て楽しく学習している。
- 4 授業中に取り組んで**終わらなかつた分が宿題**。夏休みも算数・理科で学習範囲を決めて宿題を出した。
- 5 すでに学校全体で活用している。



駒西小学校
平野航太先生
4学年担任

- 1 毎回授業最後の 10~15 分活用。終わらない分は土日の宿題。
- 2 問題に取り組み、間違えたら解説を読むように指示している。単元テストもすららで行い評価に活用する。
- 3 すぐに正誤が出るので正解するまで頑張っている。定期テスト前は特に意欲的に取り組んでいた。
- 4 課題を出して学校で取り組ませ、終わらない分を家庭学習にする。
- 5 同じ学年や教科で情報交換する。



葦原中学校
根岸俊暢先生
2学年副担任
社会科担当

- 1 単元の最後のまとめテスト前に。このことで、子どもから復習したいという声が出るので効果がある。
- 2 算数・理科が多い。漢字は、前学年の復習用として活用している。
- 3 目標設定をさせる。習熟度に応じた問題を出せるようにしている。
- 4 節の終わりに提出期限を決めて宿題を出すことにしている。
- 5 校内研修会で目標の設定方法などを習得。夏休みの宿題を共通で出せるようにした。



上野台小学校
桑尾裕樹先生
6学年担任

- 1 急な自習の時などに活用している。「教科書から選ぶ」を使えば教科担当でなくても課題を出すことができる。
- 2 5教科全てで取り組んでいる。
- 3 AI機能で個に合った問題に取り組むことでやる気を高めている。また、アチーブエッグで楽しんでいる。
- 4 定期テストの範囲発表時にすららドリルの範囲を明確にしている。夏休みの宿題として活用している。
- 5 校内研修会を4月に実施した。



花の木中学校
原智徳先生
3学年副担任
技術科担当

- 1 4月から毎時間活用している。
- 2 算数がメインで教科書や計算ドリルが終わった児童の補充問題として。
- 3 AI機能を活かし、得意な児童は自分で合った問題に取り組めている。
- 4 家庭学習では主に算数。夏休みの宿題として具体的に範囲と提出期限を示して取り組ませている。
- 5 目標設定をさせて課題に取り組ませるとよいことを校内で共有した。
- 6 学習管理画面で確認し児童に声かけをしている。



東原小学校
小圖子勝司先生
6学年担任

- 1 自由進度学習のような授業に取り組んでいて、課題が終わった生徒がすららドリルで学習（復習）する。
- 2 3年生は受験勉強で1年からの復習に活用している。他教科、他学年では自習課題として活用する。
- 3 ユニットがクリアできないと次に進めないので生徒は頑張っている。
- 4 全教科で夏休み・冬休みの宿題として範囲を決めて出している。
- 5 活用法について互いに教え合う。



大井東中学校
小河原渓太先生
3学年担任
英語科担当

- 1 毎日使う。学級閉鎖時の家庭学習としても課題を出して活用した。
- 2 算数では授業中の補充問題として、理科ではテスト前の復習用として。
- 3 学習時間やクリアユニット数の順位を励みにしている。卵を育てたりアイテムを集めることを楽しんでいる。
- 4 毎日宿題を出している。宿題は学習管理画面の目標一覧で確認する。
- 5 良い活用事例を随時共有し、成功イメージが広がるようにした。先生方を常にフォローしている。



亀久保小学校
木川理子先生
4学年担任